



～夢と希望をはぐくむ県南の教育～

県南社教TIMES

第12号
令和元年7月11日

編集・発行 福島県教育庁県南教育事務所 板橋竜男

地域家庭教育推進県南ブロック会議(6/17)

域内の学識経験者、PTA連絡協議会、学校関係者、企業、地域の子どもの関わる団体、行政関係者の代表が集まり、家庭教育の課題等について話し合いが行われました。協議の概要は、以下のとおりです。今後は、この会議の内容を踏まえ、それぞれの立場で家庭教育を推進するとともに、連携を深めて家庭教育の重要性をさらに広めていくことを確認しました。

【協議の概要】

○ 現状と問題点

- ・ 自己肯定感を持っていない親が多くなっている。研修会に参加する人は前向きであるが、参加してほしい親にどう対応していくかが課題である。
- ・ 子どもが小さい頃から、保護者に対して家庭教育の支援をしていく必要がある。
- ・ 親は、自分と同じ境遇の人と話しやすい。最近では、親同士のコミュニケーションの薄さも感じている。
- ・ 健康教育の観点では、肥満、むし歯、体力低下が課題である。健康課題の意識を高める上でも、学校と家庭との連携は重要である。
- ・ 親が切れやすく、子どもに怒鳴り散らすことも見られる。
- ・ 今の親は、SNSでの「いいね」などで自分の価値を図っている。
- ・ 幼少期から、家庭教育による親子のつながりの必要性を感じる。

○ 今後の対応策

- ・ 行政をはじめ、それぞれの立場や団体等で家庭教育を支援していく。
- ・ 家庭教育支援プログラムの活用や、研修会の参加が気軽にできるよう、広報のしかたやちらしの文言を工夫していく。
- ・ 家庭教育応援企業を県南全域に広げ、家庭教育の重要性の理解と啓発をしていく。
- ・ ブロック委員同士及び市町村との情報共有を図り、連携をさらに深めていく。
- ・ 家庭教育支援者地区別研修や親子の学びの応援講座では、この会議の課題を踏まえた取組を推進していく。

【ブロック委員】(敬称略)

- ・ 明日飛子ども自立の里理事長 清水 国明 <委員長>
- ・ 西白河PTA連絡協議会 会長(白河三小) 安部 和幸
- ・ 東白川PTA連絡協議会 会長(矢祭中) 菊池 洋行
- ・ 白河青年会議所 専務理事 上田 雄介
- ・ 東白川青年会議所 理事長 梅原 貴紀
- ・ 子育て環境を考える虹の会 理事長 永野美代子
- ・ 家庭教育インストラクター県南の会 会長 今野登志子
- ・ 西郷村放課後子ども教室 コーディネーター 露木 則子
- ・ 県学校保健会東西しらかわ支部長(詰-小娘) 木村 真一
- ・ 白河警察署 専門少年警察補導員 真船千恵美
- ・ 棚倉警察署 副主任少年警察補導員 小野 早希
- ・ 県南保健福祉事務所 専門保健技師 土田 札美
- ・ 県南教育事務所スクールソーシャルワーカー 船山 克美



“ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業

過疎・中山間地域連携事業の一環として、東白川郡内全小学校で実施しています。地域の人材を活用した体験活動を通して、地域よさを再発見して、次代を担う人材を育成します。



さつまいも苗植え(5/24)
【山岡小学校】



茶道教室(7/1)
【近津小学校】



和菓子作り(7/9)
【高野小学校】

生涯学習アラカルト

地域連携担当教職員等研修会（6／10）

今年度より、各学校に配置となった地域連携担当教職員の研修会が、白河合同庁舎で行われました。県南域内小・中・高の教職員、全市町村の行政担当者等68名が参加しました。県の担当者の講義、尚綱学院大学の松田道雄教授の講演、西郷村の実践発表により、参加者は地域連携担当教職員の役割と今後の進め方について理解を深めることができました。また、グループ協議では、市町村ごとに学校と行政が、現状とこれからの方向性について話し合いをすることができました。特に、高校の先生方の参加もあり、新たなネットワークを構築することもできました。



【参加者の感想】

- 小・中・高・行政との話し合いの場があり、とても有意義だった。これからの地域との活動の連携活動のきっかけになった。
- 学校としての体制づくり、システムづくりについて、ヒントやアイデアをいただいた。担当者の役割、業務内容について具体的に示していただいたので、これから整備していきたい。
- 何をどのように進めていったらよいか分からない状態で研修会に参加したが、講義や講演から少し見通しがもてるようになった。

棚倉町地域連携担当教職員会議（7／8）

小・中・高・行政の担当者10名が参加して、学校支援の内容と今後の運営等について話し合われました。各学校の担当者は、これからの仕組みづくりや新たな連携の方策について熱心に意見交換し、身近なところから少しずつ進めていくことを確認しました。また、小・中学校では、修明高校との様々な連携ができることも確認でき、とても有意義な会議でした。教育事務所の担当者もこの会議に参加させていただきましたが、今後は各市町村でこのような会議等がある際は、当方でも出向いて連携について一緒に考えていきたいと思っております。



読書活動支援者育成事業地区別研修（7／8）

棚倉町立図書館で、64名の図書館職員やボランティア関係者が参加して行われました。午前には県社会教育課の行政説明と県南教育事務所指導主事の講義、午後は仙台市まつお文庫の松尾福子氏の講演がありました。午前の講義では、ビブリオバトルの内容とそのよさについて、午後の講演では、42年間の文庫の実践と運営方法、子どもとの関わり方など大変参考になりました。最後の参加者同士の情報交換でも、日頃の実践内容や悩み等を話し合うことができ、充実した研修となりました。



社会教育研修会

5月21日に矢祭町、5月30日に西郷村で公民館訪問も兼ねて実施しました。社会教育委員・公民館運営審議委員・公民館事務局の皆様が集まり、公民館の現状と課題について共通理解を図り、テーマをもとに意見交換を行いました。

また、4月から7月にかけて、矢吹町・埴町・中島村・鮫川村・泉崎村で公民館訪問を実施しました。各公民館では、基本方針や基本施策のもとに公民館運営及び公民館事業を推進しており、地域の実態や住民のニーズや応じた創意工夫ある事業を実施し、質の高い住民サービスで成果をあげています。



研修会のご案内

『地域連携協働研修会（地区別研修）』

- ◇日時・会場 8月28日（水） 9：30～12：15 新白信ビル2階 大会議室
- ◇内容
 - ・行政説明 「地域学校協働本部事業の取組と今後の見通し」 【県教育庁社会教育課 戸井田 修 社会教育主事】
 - ・事例発表 「おのだなかよし教室の活動」～なかよく・かしく・元氣よく～ 【白河市東庁舎地域振興課 副主査 佐藤恵理 様】
 - ・講義 「地域で共に学び、共に生きる教育の充実」～特別に支援を要する子どもへのかかり～ 【県南教育事務所学校教育課 大橋典子 指導主事】
- ・グループ協議（地域関係者グループ、行政等担当者グループ）
- ◇申込先 県南教育事務所（8／20まで）

【各学校の皆様へのお願い】 →学校や家庭ではできない体験や交流

各市町村の公民館や生涯学習事業・各種団体（J.C・警察・県庁各課・NPO団体等）の子ども対象の事業には、本物の体験活動や様々な人との交流活動など、子どもたちに是非参加させたい内容が豊富にあります。夏休みの開催案内のちらしが届いた際は、子どもたちにも参加を促すよう声をかけていただきますようお願いいたします。